つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究　　活動日時：２０２４年　９月　１７日（火）

＜活動のテーマ＞

それぞれのみかんの色を観察してみる

＜テーマ設定の理由＞

みかんへの興味を深める為、他児が作った皮の色を見比べてみるため

＜活動スケジュール＞

・作った色の画用紙を張り出し、掲示していく

・本物と比べたり、他児の見たりして気付きを伝え合う

＜環境設定＞

模造紙、画用紙、みかん

＜活動内容＞

・旧ランチルームに掲示し、みんなで見比べてみる

・子ども達と気付きを伝え合っていく

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞　子ども「」、保育者『』

「この色似ているね！」

「〇〇ちゃんのも本物そっくり！」

「どうやってこの色作ったんだろう？」

「本物のみかんある？持ちながら比べてみたい！」

「このみかんは、これに似ているね。もう一つのみかんは、これに似てる！」

『自分のだけじゃなくて、お友だちのはどうだったかな？』「〇〇ちゃんのが似ていた！」

「みかんっていろんな色があるんだね」

「いろんなみかん調べてみたい」

＜振り返り＞

・みかんの皮を観察し、色を作ってみた物をみんなで見比べると興味を持った児は、本物を持ちながら観察していた。また、みかんにもいろんな色があることに気付いた様子もあったので、様々なみかんを調べたい気持ちもでてきた。興味を持った児でいろんなみかんを調べたり、買い物へ行ったりし調べていきたい。

・今回は、みかんの皮を調べていき、中身も気になる様子があったので次回は、中身を見て色を確かめていく。

つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究　　活動日時：２０２４年　９月　２７日（金）

＜活動のテーマ＞

みかんの中身を調べる

＜テーマ設定の理由＞

中身への興味がでてきたので、じっくり観察したり、色を調べたりするため

＜活動スケジュール＞

皮と中身の違いや色の違いに興味を持ち、調べて見る

＜環境設定＞

みかん（オレンジと春みかん）、筆、画用紙、入れ物

＜活動内容＞

・みかんの中身を観察し、果汁を絞る。

・匂いをかいだり、皮との違いを調べて見る

・果汁を使い、画用紙に描いてみる

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞　子ども「」、保育者『』

「皮と中身は全く色が違うね」

「オレンジは、黄色で春みかんは、オレンジ色だね」

「黄色は、酸っぱいにおいがするけど、オレンジ色は、甘いにおいがするね！」

『この果汁で画用紙に描いたらどうなるかな？』「やってみたい！」

「色が付いたよ！」「少し良いにおいがする！」

「果汁でみかん描いてみようかな」

＜振り返り＞

・みかんの種類によって違いが分かるようにオレンジと春みかんを用意してみた。子ども達からも、色やにおいの違いに気付く姿もあり、色によって甘さが違う事も発見していた。さらに興味が湧くように、果汁で絵を描けるように筆と画用紙を用意すると、オレンジと春みかんを描く子もいた。

・色や匂いの違いに気付いてきたので、本物そっくりのみかんを紙粘土でも作れるようにしていきたい。

つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究　　活動日時：２０２４年１１月７日（木）

＜活動のテーマ＞

みかんの中身の色作りをしてみる、みかんの絵を描いてみる

＜テーマ設定の理由＞

みかんの皮の色作りをして、中身にも興味を持つ児がいた為

＜活動スケジュール＞

・興味がある児で行う

・中身を観察し、同じ色を作ってみる。

＜環境設定＞

絵の具（赤、黄、青、白）、画用紙、みかん、色水用に食紅、書画カメラ

＜活動内容＞

・みかんの中身の色をじっくりと観察して、本物そっくりな色を作ってみる

・観察する中で、自分なりに気づきを表現する

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞　子ども「」、保育者『』

「オレンジを作るには赤と黄色を混ぜるんだよね」

『色が分かりやすいように容器に果汁を絞ってみる』

「色水で作った方が似てるかも」

「絞ったらいい匂いがするね」

・近い色が完成すると早めに終わらせる児が多かった。

・絵の具を使って中身の色を作っていた児は「みかんの絵を描きたい」と話し、画用紙にみかんの絵を描くことを楽しんでいた。

→夕方、書画カメラを使ってスクリーンにみかんを映し出して、観察しながらみかんの絵を描けるように環境設定をする。

「ヘタの形が面白いね」

「オレンジと黄色と白と緑が混ざってるんだね」

・色鉛筆を使ってみかんの絵を描いてみる。

＜振り返り＞

・みかんの皮の色作りで、オレンジ色の作り方を経験していた為、すぐに本物に近いオレンジ色を作ることができる児が多かった。また、皮の色では絵の具を使った方が本物に近かったが、中身の色は色水を使った方が本物に近いと色作りをしていく中で気づく児がいた。

・絵の具を使って中身の色作りをしていた児は途中から画用紙にみかんの絵を描くことを楽しんでいた。みかんをじっくりと観察していたことで、ただオレンジ色を使うだけでなく、場所によっていろいろな色を混ぜながら描いていた。その為、夕方に書画カメラを使ってみかんを大きく映し出すと、より鮮明に観察できたことから、細かい皮の色の違いに気づく姿もあった為、後日、同じように書画カメラでじっくりと観察する時間を確保していきたい。

つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究　　活動日時：２０２４年１１月２７日（水）

＜活動のテーマ＞

書画カメラを使ってみかんをじっくりと観察して絵に描いてみる

＜テーマ設定の理由＞

前回のみかんの中身作りをした際に、みかんの絵を描くことを楽しむ姿があったため

＜活動スケジュール＞

書画カメラで映し出してじっくりと観察してみかんの皮や中身の特徴に気づき、絵で表現してみる。

＜環境設定＞

書画カメラ、みかん、画板、画用紙、色鉛筆

＜活動内容＞

・みかんを大きな画面でじっくりと観察して、細かいところまで絵に描いてみる

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞　子ども「」、保育者『』

・みかんの皮や、中身をじっくりと観察して絵に描いてみる。

「ここだけちょっと緑色が混ざってるね」

『中身の皮も剥いて見てみる？』中身の薄皮を剥いて、剥く前の物と並べてみる。

「色がちょっと違うんだね」

「皮がちょっとだけ厚い！」

・みかんの皮の裏の絵を描いてみる

「なんか迷路みたいになってる」

＜振り返り＞

・みかんの皮だけでなく、中身や中身の皮を剥いたもの、皮の内側など、みかん全体を書画カメラに移したことでじっくりと観察していた。また、じっくりと観察したことで今まで観察してきた柑橘類との違いに気づく姿もあった。

・今回は観察をしながら絵で表現した為、後日、紙粘土を使って形も本物に近い物を作っていきたいと思う。

つぼみぐみ～みかんの研究～

年間テーマ：みかんの研究　　活動日時：２０２４年　１２月　１３日（金）

＜活動のテーマ＞

夏みかんを紙粘土で作ってみる

＜テーマ設定の理由＞

色や匂いを調べてきたので、紙粘土で形を作ってみようと思った為。

＜活動スケジュール＞

夏みかんの特徴を知り、形にしてみる。

＜環境設定＞

紙粘土、絵の具、夏みかん

＜活動内容＞

・夏みかんを見ながら、紙粘土で作ってみる。

・見た目をじっくり観察し、色や見た目の特徴に気付いたり、友だちと伝え合ったりしながらやってみる。

＜活動中の子どもの姿や保育者との関わり＞　子ども「」、保育者『』

「夏みかんってこのぐらいの大きさかな？」

『本物と比べてみると少し小さくない？』（保育士が大きい丸を作ってみる）

「私達の手よりも大きいから、作るの大変ー！」

「本物と見比べてみようかな…大きくできた気がする！」

「色も塗っていく！黄色で塗って…」

「葉っぱは、緑だよね」「本物をよく見るとみどりの部分もあるね！」

『確かによく見ると緑の部分もあるね』

「つぶつぶした部分もあるよ！ただの丸じゃないね」

＜振り返り＞

・色や形を調べてきた中で、紙粘土で本物をじっくり観察しながら作る事で色が黄色だけではない事やきれいな丸ではなく、少しごつごつしている事等、発見した様子があった。

・悩みながら作っている子には、保育士もじっくり観察しながら「これって大きいかね」「ここの部分はなんだろうねぇ」等、やりとりをしながら関わると一緒に気付きや感じた事を伝え合いながら、深めていた。